

令和5年(2023)7月 入域観光客数概況(確定版)

77万8,800人
 対前年(R4)同月比 +17万1,000人、+28.1%
 ~7月としては復帰後5番目、対前年同月比で20ヶ月連続の増加~
 ※(R元年度)同月比 ▲18万4,800人、▲19.2%

- 【更新履歴】①令和5年8月25日速報版公表
 ②令和5年10月25日確定版公表
- ※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、10月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。
- ※外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

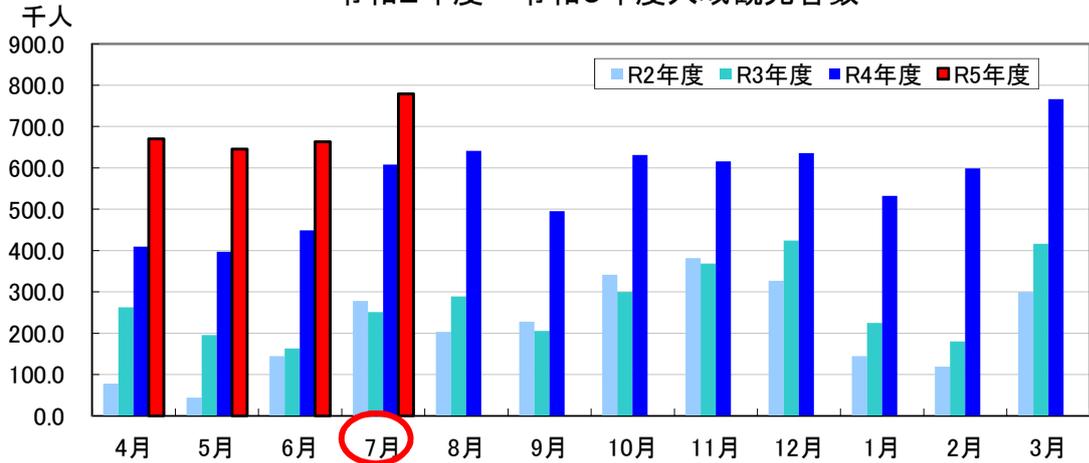
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	663,600人	607,800人	+55,800人	+9.2%	85.2%
外国客	115,200人	0人	+115,200人	皆増	14.8%
合計	778,800人	607,800人	+171,000人	+28.1%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等10,400人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

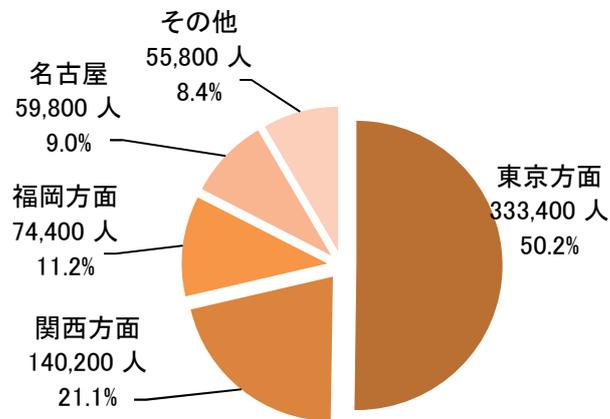
7月は、月末に襲来した台風による航空便の欠航やクルーズ船のキャンセルがあったものの、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、海洋博公園等で開催された花火大会等のイベント、航空会社による増便・臨時便、クルーズ船寄港等により前年同月を上回った。特に、東京・関西・名古屋方面においてはコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	333,400 人	317,200 人	+ 16,200 人	+ 5.1%	50.2%
関西方面	140,200 人	132,800 人	+ 7,400 人	+ 5.6%	21.1%
福岡方面	74,400 人	64,300 人	+ 10,100 人	+ 15.7%	11.2%
名古屋	59,800 人	57,200 人	+ 2,600 人	+ 4.5%	9.0%
その他	55,800 人	36,300 人	+ 19,500 人	+ 53.7%	8.4%
合計	663,600 人	607,800 人	+ 55,800 人	+ 9.2%	100.0%

※国内海路客8,700人含む。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、航空会社による増便・臨時便・季節運航等を受け、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

関西

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、航空会社による増便・臨時便等を受け、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

福岡

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、スカイマークによる福岡～下地島路線の就航(7/14～8/31)等を受け、前年同月を上回った。

名古屋

7月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、初の夏休みシーズン到来となり、航空会社による臨時便・季節運航等を受け、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

外国客 入域状況

7月は一部航空路線の運休が継続しているものの、夏休みの旅行需要に加え、那覇－上海便再開(7/1～)、那覇－仁川臨時便(7/21～8/27、週4便)等により、外国客数は堅調に推移した。

8月以降も、那覇－台北便増便(8/15～)、那覇－クアラルンプール便(台北経由)の就航(8/16～)、那覇－北京便(9/28～)等の再開に加え、9月中秋節連休、国慶節連休が続くことから、段階的な回復が期待できる。

- トピック**
- ▶【台湾】7月は台湾発クルーズ船が7回寄港し、2万人を超える台湾人観光客が来沖した。8月から10月にかけても複数回の寄港が予定されている。
 - ▶【香港】10月から複数回のクルーズ船の寄港が予定されており、香港の旅行社では沖縄行きクルーズ商品の販売が開始された。
 - ▶【中国本土】7月から那覇－上海便が再開したことで、空路による中国人観光客数は、6月の900人から7月は4,900人へと大幅な増加。
 - ▶【シンガポール】那覇－シンガポール便が11月30日から再開予定

外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	55,100人	0人	+ 55,100人	皆増	47.8%
韓国	25,700人	0人	+ 25,700人	皆増	22.3%
中国本土	4,900人	0人	+ 4,900人	皆増	4.3%
香港	14,500人	0人	+ 14,500人	皆増	12.6%
アメリカ	1,400人	0人	+ 1,400人	皆増	1.2%
タイ	100人	0人	+ 100人	皆増	0.1%
シンガポール	100人	0人	+ 100人	皆増	0.1%
その他	13,400人	0人	+ 13,400人	皆増	11.6%
合計	115,200人	0人	+ 115,200人	皆増	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等10,400人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	31,100人	0人	皆増	38.7%	24,000人	0人	皆増	68.8%
韓国	25,600人	0人	皆増	31.9%	100人	0人	皆増	0.3%
中国本土	4,900人	0人	皆増	6.1%	0人	0人	—	0.0%
香港	14,500人	0人	皆増	18.1%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,300人	0人	皆増	1.6%	100人	0人	皆増	0.3%
タイ	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
その他	2,700人	0人	皆増	3.4%	10,700人	0人	皆増	30.7%
合計	80,300人	0人	皆増	100.0%	34,900人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等10,400人を含む

外国客の地域構成比

